

【すかいらーく (3197) の 2017 年 12 月期中間決算報告】

第 2 四半期決算は出店増と優待強化で営業減益に

すかいらーく (3197) の 2017 年 12 月期中間決算は 1.8%増収、5.8%営業減益となった。特に第 2 四半期の 3 カ月は 2.3%増収、12.2%営業減益と厳しい決算になった。ただし、第 2 四半期に減益となった要因は、出店増と株主優待強化による引当金の増加によるものである。

銘柄名	すかいらーく	コード	3197	上場	2014年10月							
株価(2017年8月9日)	1,703 円			PBR(16/12実)	2.92 倍	ROE	16.9%					
株数	194,849 千株			配当利回り(17/12予)	2.3%							
配当	40 円			時価総額	3,318 億円							
発行済み株式数	194,849 千株			自己資本	113,619 百万円							
自己株式	0 千株			BPS	583 円							
決算期	売上高	伸率	営業利益	伸率	税前利益	伸率	純利益	伸率	EPS	PER	月次	
(連結)	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	倍	連結	
2015/6上 実績	172,692	4.2	12,187	8.1	10,635	26.6	6,574	47.3	-	-		
2015/12下 実績	178,454	2.4	15,619	50.6	14,082	68.3	8,546	70.3	-	-		
2016/6上 実績	172,998	0.2	13,694	12.4	12,279	15.5	7,706	17.2	-	-		
2016/12下 実績	181,515	1.7	17,555	12.4	16,673	18.4	10,510	23.0	-	-		
2017/6上 実績	176,182	1.8	12,898	-5.8	11,596	-5.6	7,773	0.9	-	-		
2012/12期 実績	329,845	-	17,343	-	8,495	-	7,062	-	36.2	47.0		
2013/12期 実績	332,484	0.8	22,563	30.1	11,800	38.9	7,097	0.5	36.4	46.8		
2014/12期 実績	340,002	2.3	21,642	-4.1	16,767	42.1	9,479	33.6	48.6	35.0		
2015/12期 実績	351,146	3.3	27,806	28.5	24,717	47.4	15,120	59.5	77.6	21.9		
会社予想初	349,500	2.8	26,600	22.9	23,300	39.0	14,190	49.7	72.8	23.4		
2016/12期 実績	354,513	1.0	31,249	12.4	28,952	17.1	18,216	20.5	93.5	18.2		
会社予想初	360,000	2.5	31,500	13.3	28,600	15.7	18,200	20.4	93.4	18.2		
2017/12期 会社予想初	365,000	3.0	32,800	5.0	30,000	3.6	19,200	5.4	98.5	17.3		
2016-1Q 実績(3ヵ月)	86,965	0.9	6,145	-3.3	5,438	-3.2	3,318	-7.0	-	-	-0.1%	
2016-2Q 実績(3ヵ月)	86,033	-0.5	7,549	29.5	6,841	36.4	4,388	45.9	-	-	-1.6%	
2016-3Q 実績(3ヵ月)	91,752	0.0	10,120	4.9	9,441	6.4	6,077	11.7	-	-	-0.9%	
2017-3Q 実績(3ヵ月)	89,763	3.5	7,435	24.6	7,232	38.8	4,433	42.7	-	-	2.3%	
2017-1Q 実績(3ヵ月)	88,130	1.3	6,271	2.1	5,626	3.5	3,721	12.1	-	-	0.4%	
2017-2Q 実績(3ヵ月)	88,052	2.3	6,627	-12.2	5,970	-12.7	4,052	-7.7	-	-	1.1%	

同社では今期には前期新規出店数 49 店舗の倍以上の新規出店を計画している。今期は第 2 四半期までの累計で 39 店舗の出店を行っており、前年同期比では第 1 四半期が 5 店舗、第 2 四半期は 11 店舗、出店数が多くなっている。

また、同社では今年度より株主優待を充実し、従来は 100 株で年間 2,000 円分の株主優待券を 3 倍の 6,000 円とした。半期分の発生日は 6 月末であり、前年度上期には 1 億円であった引当金が今年度は 7 億円と 6 億円の増加となった。なお、この株主優待の引当増は 12 月末にも発生する。

仮にこの 6 億円の増加分を除くと、上期の営業増益は 1.4%減益となり、第 2 四半期も 4.3%減益となる。これが実質的な増益率である。

出店の直接経費は1店舗700万円と多いわけではなく、上期でも前年同期比112百万円の増加にとどまる。しかし、新規出店に伴って、パート・アルバイトが増え、家賃が増え、また出店増のために出店要員を60名増加して、本部経費が増えていることから、実質でも減益となっている。

下期には株主優待の売上上乘せ効果はあるが、さらに出店を加速する

今回の株主優待は6月末が権利確定日であり、9月半ばから発送するため、10月以降はその優待券を持って株主が来店するため、売上の上乗せ効果が期待できると会社側では見ている。

仮に今回の6億円が10-12月の3ヵ月間で100%消化されるとすると、前年度第4四半期の売上高が900億円であるので、0.7%ptほどの上乗せ効果となる。これはすでに費用計上されているため、売上に計上されるものであり、しかも株主でもあり、優待券だけで支払いを済ますこともないと考えられるため、意外と月間1%ptほどの既存店伸び率の上乗せ効果がありそうである。さらにこれは、来年の第2四半期にも当てはまるものである。



上期の既存店は1%のプラスと堅調に推移した。前年度の7月は3.5%増と高水準であったが、この7月は0.6%増とプラスをキープした。一方、前年度の8月は4.3%減、9月は2.0%減と落ち込んでいることから、今期に関しては第3四半期の既存店はある程度水準が期待できそうである。

また、前年度の第4四半期の既存店は2.3%増と高水準であったが、今期には株主優待の上乗せ効果が見込まれるため、引き続き堅調な伸びが見込まれよう。

よって、上期は営業減益となったが、通期ではほぼ会社計画並の営業利益は達成が可能であろう。

投資判断

上期決算の減益を受けて、目先の株価が調整局面を迎える可能性があるだろう。しかし、100株で考えた場合、配当が40円、株主優待が60円であるため、現状でも両社を合わせた配当利回りは5.9%となっている。よって、それほど大きくは売り込まれる可能性は低いものと考えられる。

むしろ、8月以降の既存店の伸び率が期待されることから、その局面が買い場ということも考えられる。

週足・売買高チャート

すかいらー(3197)



(C)QUICK Corp.

注意事項

当レポートの株式に関する記述は、投資の勧誘を目的としたものではありません。情報の内容も私の観測であり、不確定要素を多く含みます。当該情報に基づいて被ったいかなる損害についても、当社では一切の責任を負いません。投資判断はすべて自己責任にてお願い致します。